

2023年度 環境経営レポート

(対象期間 2023年5月～2024年4月)



作成日：2024年5月31日

株式会社 マルエス産業

目 次

	ページ
①環境方針	…1
②組織の概要	
i 事業の規模概要	…2
名称及び代表者名	
所在地	
環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	
事業内容	
産業廃棄物処理関連事項	
事業の規模	
ii 認証・登録の対象組織・活動	…4
対象事業所	
活動内容	
③対象範囲	…5
④環境目標	…6
⑤主要な環境活動計画の内容	…10
⑥環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	…13
⑦環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	…17
⑧代表者による全体評価と見直しの結果	…18

①環境経営方針



株式会社 マルエス産業

環 境 経 営 方 針

株式会社マルエス産業は、本業である解体工事業、土木工事業、産業廃棄物処分業を通じて、それぞれの分野・部門において地球温暖化問題と向き合い、良好な生活環境の保全及び資源の有効的な活用を図る企業として、環境に優しい社会の構築に全社員で継続的に取り組みます。

- 1 環境関連の法規及び当社が策定する事項を遵守する
- 2 温室効果ガスへの理解を深め、CO2排出量を抑えられるよう努める
- 3 3R活動に貢献する。砕石や木材チップなど再資源化率の向上に努める
- 4 節水への意識を高く持ち、水使用量を最小限に抑える
- 5 化学物質の取り扱いへの理解を深める
- 6 地域での環境活動に積極的に参加する

この環境方針は、全ての社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。

制定日:2017年6月1日

改訂日:2024年5月1日

代表取締役

酒井 健吉

②組織の概要

i 事業の規模概要

(1) 名称及び代表者名

会社名 株式会社 マルエス産業

代表者名 代表取締役 酒井 良郎

2024年5月1日から代表取締役:酒井 健吉

(2) 所在地

本社 岐阜県土岐市泉町河合819-2

TEL:0572-55-1285

FAX:0572-55-0437

処分場 岐阜県土岐市曾木町字古田3103

TEL:0572-52-2367

FAX:0572-52-2521

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役 酒井 英至 0572-55-1285 hide@maruesu-s.co.jp

担当者 総務事務 安藤 英里 0572-55-1285 eri@maruesu-s.co.jp

(4) 事業内容

総合建設業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業(破碎・焼却)

◆産業廃棄物収集運搬業(許可:7県) (許可内容は4ページ参照) *印:優良事業者認定

*岐阜県 許可番号:02111005807 許可年月日:平成30年7月17日 期限:平成37年7月15日
(積替保管許可あり▶土岐市曾木町字古田3135番21地 面積301.50㎡/保管上限283.66㎡/高さ2m)

愛知県 許可番号:02300005807 許可年月日:令和3年1月22日 期限:令和8年1月21日

三重県 許可番号:02400005807 許可年月日:令和5年3月15日 期限:令和10年2月26日

*静岡県 許可番号:02201005807 許可年月日:令和6年1月9日 期限:令和13年1月8日

長野県 許可番号:02009005807 許可年月日:令和3年10月2日 期限:令和8年10月1日

*福井県 許可番号:01807005807 許可年月日:令和5年8月25日 期限:令和12年8月12日

京都府 許可番号:02600005807 許可年月日:令和2年11月19日 期限:令和7年11月18日

◆産業廃棄物処分業(岐阜県のみ)

*印:優良事業者認定

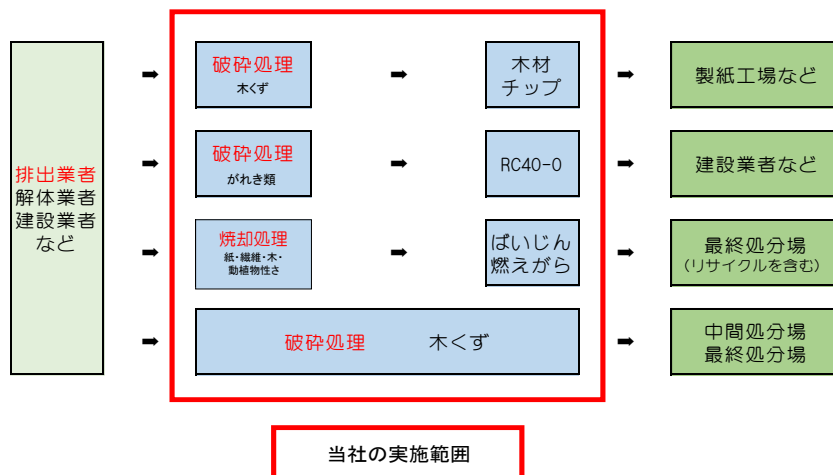
*許可番号:02121005807 許可年月日:平成30年7月17日 許可有効年月日:平成37年7月8日

事業範囲:

問い合わせ先:工場長 谷口 宗治

処理方法	処理能力	産廃物の種類
中間処理(焼却)	9.6t/日	紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残渣
中間処理(破碎施設Ⅰ)	320t/日	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず・がれき類
中間処理(破碎施設Ⅱ)	95.2t/日	木くず

処理工程図



(5) 事業の規模

創業 昭和40年4月1日
 法人設立 昭和49年5月4日
 資本金 2,000万円
 売上高 1,158百万円(第50期実績)

完成工事高 824,145,141円(解体工事実績151件)

産業廃棄物処理売上高 290,573,831円

副産物売上高 43,950,023円

本社 従業員 27名
 事務所延べ床面積 270.87平米
 資材倉庫延べ床面積 154.44平米

処分場 従業員 5名
 事務所延べ床面積 151.58平米
 処理施設面積 32425.23平米

車両 収集運搬用車両 15台
 ダンプ6台/4トン土砂禁2台/10トン土砂禁1台/軽ダンプ1台/脱着装置付リフト専用車2台/ユニック車1台
 乗用車2台/その他(キャブオーバー1台タンク車1台/フォークリフト2台)

重機 バックホウ 15台 ホイールローダー 2台

産廃収運量	がれき類(コンクリートがら含む)	6,637.98	ト
(第50期実績)	木くず	1,049.59	ト
2023年度	紙くず	15.99	ト
※横書き保管を含む	ガラス・陶磁器	310.10	ト
	廃プラスチック	85.28	ト
	金属くず	94.15	ト
	混合廃棄物	601.39	ト
	廃ボード	80.72	ト
	繊維くず	7.84	ト

産廃処分量	がれき類(コンクリートがら含む)	2,622.36	ト	破碎
(第50期実績)	木くず	2,140.80	ト	
2023年度	木くず	1,034.55	ト	焼却
	紙くず	915.00	ト	
	動植物性残渣	213.00	ト	
	繊維くず	239.64	ト	



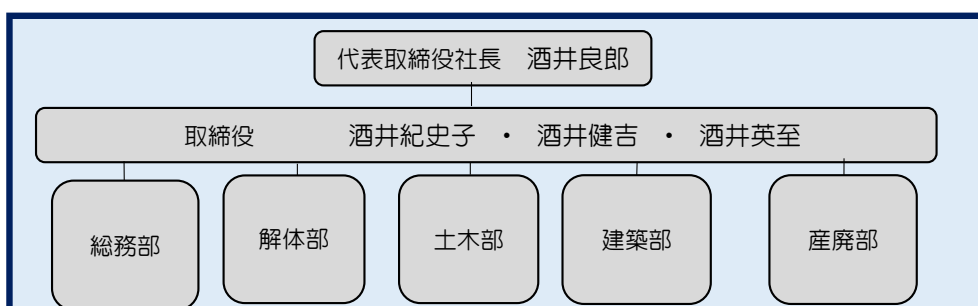
(6) 事業年度 5月～4月

(7) 主な環境負荷の実績

※2021年度よりCO2排出量の対象項目変更

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	903,318.30	879,855.41	832,355.80
受託収集運搬量	トン	10,879.02	8,603.05	8,883.04
受託中間処理量	トン	5,918.68	6,843.53	7,165.35
受託最終処分量	トン	0.00	0.00	0.00
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	787.59	789.10	838.30
産業廃棄物排出量	トン	4,462.48	8,917.75	8,670.70
総排水量	m³	124.00	164.00	175.00

(8) 組織図



ii 認証・登録の対象組織・活動(全組織・全活動)

登録事業者名:株式会社マルエス産業

対象事業所:本社ならびに曾木処分場

活動:総合建設業(土木工事業、解体工事業、とび土工事業、舗装工事業、建築工事業、

大土工事業、石工事業、内装仕上工事業、タイルれんが工事業、塗装工事業)

産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業(破碎・焼却)

各県の収集運搬業許可品目

岐阜県	(1)積替え、保管を除く。 燃え殻、汚泥、木くず、繊維くず、がれき類(以上5品目は石綿含有産業廃棄物であるものを含む。) ばいじん 上記品目は水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。 (2)積替え、保管を含む。廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。)、紙くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。) 上記品目は石綿含有産業廃棄物であるものを含む。 上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を含む。
愛知県 (積替保管なし)	燃え殻(水銀含有ばいじん等を含む。)、汚泥(水銀含有ばいじん等を含む。)、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。) 以上 9品目(水銀含有産業廃棄物を含む。)
静岡県 (積替保管なし)	廃プラスチック類(石綿含有廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、金属くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有廃棄物を含む。)、燃え殻、紙くず、木くず、繊維くず
三重県 (積替保管なし)	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く。)、金属くず、ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物を除く。)(上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む。) 燃え殻(水銀含有ばいじん等を含む。)、汚泥(水銀含有ばいじん等を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。) 以上9種類 ※ガラスくず等とは、「ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築、または除去に伴って生じたものを除く。){及び陶磁器くず」をいう。
長野県 (積替保管なし)	燃え殻(水銀含有ばいじん等を含む。)、汚泥(含水率85%以下のもの(水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等を含む。))に限る。)、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物又は水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物又は水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)(廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは、自動車等破砕物を除く。) 以上いずれも特別管理産業廃棄物を除く。
福井県 (積替保管なし)	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、「ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。){及び陶磁器くず」、がれき類(石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を含む。)(自動車等破砕物を除く。)(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く。) 以上9種類
京都府 (積替保管なし)	①燃え殻②廃プラスチック類③紙くず④木くず⑤繊維くず⑥金属くず⑦ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず⑧がれき類⑨ばいじん以上9種類(これらのうち特別管理産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等であるものを除き、石綿含有産業廃棄物であるものを含む。)

許可品目

【焼却】紙くず、木くず、繊維くず(左記3品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く)、動植物性残さ(左記4品目は水銀使用製品産業廃棄物を除く)

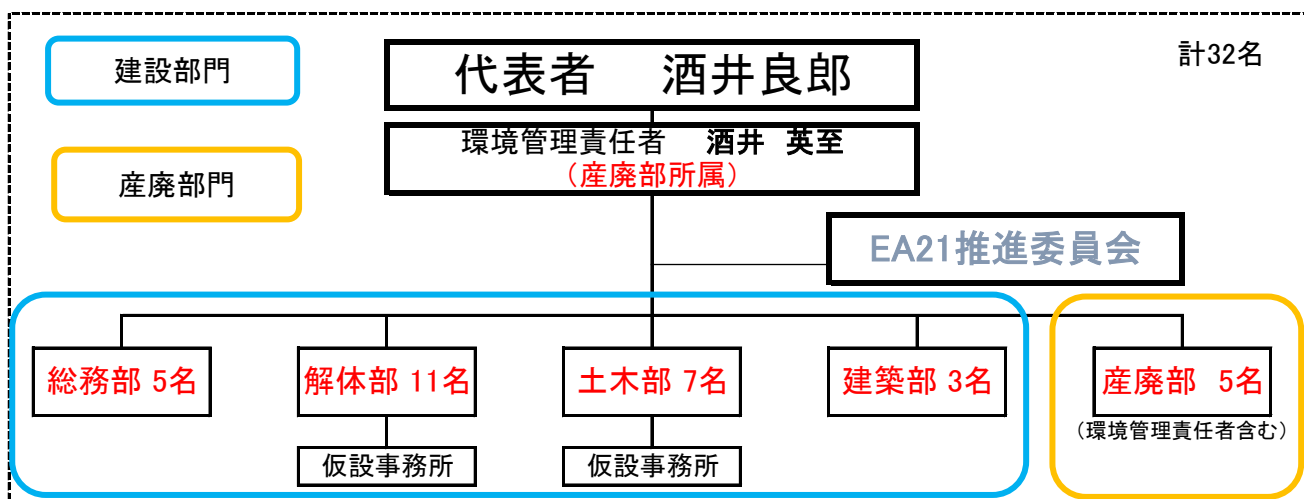
【破碎施設Ⅰ】ガラスくず及びコンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。){及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。)、がれき類(左記2品目は石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を除く。)

【破碎施設Ⅱ】木くず(石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を除く。)

③対象範囲

株式会社マルエス産業 実施体制図及び役割・責任・権限表

対象範囲



	役割・責任・権限
代表者(社長)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者 - 環境管理責任者を任命 - 環境方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 - 環境目標・環境活動計画書を承認 - 全体の評価と見直し・指示 - 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境目標・環境活動計画書を承認確認 - 環境活動の取り組み結果を代表者へ報告 - 環境活動レポートの確認
EA21推進委員会	- 環境活動の取り組み結果を代表者へ報告 - 環境負荷の自己チェックの実施 - 環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境目標・環境活動計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境活動レポートの作成・公開
部門長	- 環境活動計画の審議 - 環境活動実績の確認と評価 - 自部門における環境方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の把握 - 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成と訓練の実施 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員 (協力業者を含む)	- 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 - 在庫の把握。ムダ・ムラをなくにする。

④環境目標(建設業)

当社は環境への負荷が大きいと考えられる《二酸化炭素排出量》《廃棄物の排出量》を削減するとともに、再資源化率の向上に努めます。

・短期目標

目標	単位	基準期間 2022.5～2023.4	2023年度 2023.5～2024.4
二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	346,953	343,483
電力 使用量削減	kWh	20,385	20,181
ガソリン 使用量削減	ℓ	13,336	13,202
軽油 使用量削減		116,858	115,689
LPGガス 使用量削減	kg (1m ³ =2kg)	7.0	7.0
一般ゴミ 排出量削減	kg	315	312
水使用量 削減	m ³	125	124
化学物質 適正管理	—	SDS情報の回覧、情報共有	SDS情報の回覧、情報共有
再資源率UP (破砕処理数量/弊社排出の うち弊社処分許可品目の数量)	—	産廃物分別徹底 再資源化率99.35%	再資源化達成率 平均99%以上をキープ
収集運搬 効率UP (軽油)	—	車両平均燃費5.5km/ℓ	収集運搬車両 燃費平均5.6ℓ
地域 貢献活動	—	6月・11月に土岐市建設業組合主催 の草刈り活動に2名ずつ参加する。	6月・11月に土岐市建設業組合主催 の草刈り活動に2名ずつ参加する。

④環境目標(処分業)

当社は環境への負荷が大きいと考えられる《二酸化炭素排出量》《廃棄物の排出量》を削減するとともに、再資源化率の向上に努めます。

・短期目標

目標	単位	基準期間 2022.5～2023.4	2023年度 2023.5～2024.4
二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	532,903	527,574
電力 使用量削減	kWh	680,837	674,029
ガソリン 使用量削減	ℓ	1,488	1,473
軽油 使用量削減		69,364	68,671
灯油 使用量削減	ℓ	8,142	8,060
LPGガス 使用量削減	kg (1m ³ =2kg)	4.0	4.0
一般ゴミ 排出量削減	kg	16.0	15.8
水使用量 削減	m ³	39	38
化学物質 適正管理	—	SDSの情報共有	SDSの情報共有の徹底、管理
再資源率UP	—	RC40-0を 月平均301.25m ³ 販売	RC40-0を 月平均350m ³ 販売
地域 貢献活動	—	農免道路のゴミ拾い、地域草刈り活動への参加	農免道路のゴミ拾い、地域草刈り活動への参加

全部門の二酸化炭素排出量

短期目標	単位	基準期間 2022.5～2023.4	2023年度 2023.5～2024.4
	kg-CO ₂	879,856	871,057

建設業

・中長期目標

目標	単位	基準期間 (2022年度)	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	346,953	343,483	340,014	336,544
電力 使用量削減	kWh	20,385.0	20,181	19,977	19,773
ガソリン 使用量削減	ℓ	13,336	13,202	13,069	12,936
軽油 使用量削減		116,858	115,689	114,521	113,352
LPGガス 使用量削減	kg (1m ³ =2kg)	7.0	7.0	7.0	7.0
一般ゴミ 排出量削減	kg	315	312	308.9	305.7
水使用量 削減	m ³	125	124	123	121
化学物質 適正管理	—	SDS情報の 回覧、情報共有	SDS情報の 回覧、情報共有	SDS情報の 回覧、情報共有	環境に優しい製 品の使用率UP
再資源率UP (破砕処理数量/弊社排出のう ち弊社処分許可品目の数量)	—	再資源化達成率 平均99%以上を キープ	再資源化達成率 平均99%以上をキ ープ	再資源化達成率 平均99%以上を キープ	再資源化達成率 平均99%以上をキ ープ
収集運搬 効率UP	—	収集運搬車両 燃費平均5.5ℓ	収集運搬車両 燃費平均5.6ℓ	収集運搬車両 燃費平均5.8ℓ	収集運搬車両 燃費平均6.0ℓ
地域 貢献活動	—	6月・11月に土岐市建設業組合主催の草刈り活動に2名ずつ参加する。			

処分業

・中長期目標

目標	単位	基準期間 (2022年度)	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	532,903	527,574	522,245	516,916
電力 使用量削減	kWh	680,837	674,029	667,220	660,412
ガソリン 使用量削減	ℓ	1,488	1,473	1,459	1,444
軽油 使用量削減		69,364	68,671	67,977	67,283
灯油 使用量削減	ℓ	8,142	8,060	7,979	7,898
LPGガス 使用量削減	kg (1㎡=2kg)	4.0	4.0	4.0	4.0
一般ゴミ 排出量削減	kg	16.0	15.8	15.7	15.5
水使用量 削減	m ³	39	38	38	37
化学物質 適正管理	-	SDSの 情報共有	SDSの情報共有	化学物質確認	環境に優しい製 品の使用
再資源率UP	-	RC40-0売却量 月平均301.25 m ³	実態調査 (どれぐらいの目標 値にするとよいか検 証)	RC40-0売却量月平 均300m ³ 以上をキー プ	RC40-0売却量月平 均300m ³ 以上をキー プ
地域 貢献活動	-	農免道路のゴミ拾い、地域草刈り活動への参加			

全部門の二酸化炭素排出量

	単位	基準期間 (2022年度)	2023年度	2024年度	2025年度
中長期目標	kg-CO ₂				

⑤主要な環境活動計画の内容

目標	区分	目標達成手段	補足
二酸化炭素 排出量削減	建・ 産	節電	不要な電源を落とす意識。全員で心がける。
	建・ 産	節ガソリン	全員の意識改革が必要。アイドリングストップ。経路の事前確認。
	産	節灯油	本社では全く使用しないため、処分場に限る。
	建・ 産	節プロパンガス	本社、曾木ともにお湯の使用を抑える
電力 使用量削減	建・ 産	空調温度温度(冷房28℃、暖房20℃)	基準設定温度±1℃で設定する。
	建・ 産	不必要照明の消灯	外出時はこまめに消灯する。気づいたひとがすぐ動く。
	建・ 産	退社時のPC電源OFF確認	全員で確認。
	建・ 産	退社時給湯室の電化製品の電源OFF	ポットの電源、コーヒーマーカーの電源などすべて確認する
	建・ 産	グリーンカーテンの植栽	ブラインドで調整し空調温度を抑える。そうすることでエアコン使用時間が減る。
ガソリン/軽油/灯油 使用量削減	建・ 産	毎朝使用前の整備点検の徹底	自分の使用車両は責任を持って朝出発前に点検し不具合があればすぐに報告する
	建・ 産	アイドリング禁止	特に夏と冬にアイドリングが目立つため意識改革が必要。
	建	空間・無駄のない搭載	すき間をたくさん作らない。一度で運べるだけ運ぶ。(過積載は禁止)
	建・ 産	専門業者による空気圧の定期的なチェック	土曜日など使用車両の少ない日に業者に依頼し空気圧を確認し、燃費走行を。定期点検はプロの目で必ず行ってもらう。
	産	灯油の使用を必要最低限に抑える	ガラ破砕量が増えるのと比例して使用量が増えるが、必要最低限でおさえるよう意識する。
	建	走行経路の事前確認の徹底	確認不足で道に迷ってはいはガソリンの無駄遣いになる
LPGガス 使用量削減	建・ 産	食器洗いを水で行う・無駄遣いしない	お湯を出すことはガスを使うこと。二酸化炭素の排出を抑えるため、お湯は使用しない。
一般ゴミ 排出量削減	建・ 産	ゴミは圧縮して最小限の量に抑える	ゴミは小さくしてゴミ箱へ。ゴミ袋も大切な資源。
	建・ 産	会議用コピー資料の軽減	3人で1部にしたり、プロジェクターで見せたりしてムダを省く。
	建・ 産	ミスコピーの削減、裏紙利用率の向上	2in1コピーや両面コピーを心がける。裏紙使用率をUPさせる。
	建・ 産	蓄電式電池の使用率向上	エネルギー充電器使用率をあげる。使い捨て電池の購入を抑える。
水 使用量削減	建	洗車時節水の徹底	できる限り泥を落としてから洗車し、使用水量を最小限に抑える。
	建・ 産	手洗い・食器洗いの際の節水	出しっぱなしで手、食器を洗わない
	建・ 産	節水の案内掲示	従業員がよく使用する手洗い場や食器洗い場に掲示することで意識を高める
	建・ 産	雨水利用率アップ	曾木の貯水池の水を有効活用する。花のみずやりは雨水を使用。
化学物質 適正管理	建	環境を考えた材料の選定	なるべく環境にやさしい材料を使用するよう心掛ける。(特に土木部)
	建・ 産	SDS(安全データシート)管理の徹底	使用化学物質のSDSは1ヶ所で保管する。請求明細など見ながら漏れないよう把握。

再資源率UP	建・産	混合廃棄物の軽減	うまく選別してから運搬することで処分費用を抑える。
	建・産	プリンターのトナーカートリッジをリサイクル回収へ	使用済みのカートリッジは業者に回収をお願いしリサイクルへ
	産	産廃をできるだけリサイクルする	木くず破碎率のUPでリサイクル率をあげる。RC40-0を積極的に販売する。
	建・産	再生資源の積極的な利用	捨てる前にほかに使い道がないか考える。再生資源の使用率をUPする
収集運搬効率UP	建・産	手際の良い産廃物の分別作業	めりはりのある動き。人員配置もよく考えておこない、分別を徹底的に行う。利益につながる分別を心がける。
	建	効率の良い搭載	フレコンを活用し、チームワークよくきれいに搭載することによりムダを省く。何度も同じ場所へ運搬するより1度で済ませた方がムダがない。
	建	過積載ゼロ	バケツで計量、加減しながら積載し、過積載ゼロを目指す。
地域貢献活動	建・産	地域奉仕作業に参加	土岐市建設業組合主催の公道草刈り事業に参加 曾木処分場近隣の農免道路清掃活動



土岐市建設業組合の組合員で市内公道沿いの草刈りをしました。弊社より2名が出席。



毎月月末の全体会議で1か月の取り組みについて振り返りを行います。

古切手は土岐市内の福祉施設へ定期的に寄付をしています。



週に1度事務員が本社近隣のゴミ拾いをおこなっています。



ペットボトルキャップ
はワクチンにすべく
寄付。
24時間テレビの募
金も行っています。



本社横の大洞川の清掃を毎年
定期的に行っています。



エントランスにAEDを設置。ご近所
の方にもご利用いただけます。

古着、かばん、ぬいぐるみなどを社員で持
ち寄りNPO法人へ寄付。



トイレトペー
パーの芯は
資源回収へ



SDGsを意識した
活動に力をいれ
ています。

⑥環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容(建設業)

目標	単位	基準期間 2022.5～2023.4	目標 2023.5～2024.4	実績 2023.5～2024.4	評価	コメント	次年度の取り組み にむけて
二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2	346,953	343,483	285,599	○	基準年度の 7.7%削減と 大幅に目標 をクリア。	達成項目が多くとても 良い結果がだせまし た。この調子で「全員で の取り組み」を意識し ていきたい。
電力 使用量削減	kWh	20,385	20,181	19,641	○	基準年度の 4%削減で 節電の効果 が出ている。	エアコンだけでなく加湿器な ど、電気使用量を必要最低限 にしようと声掛けができました。
ガソリン 使用量削減	ℓ	13,336	13,202	13,474	△	ガソリンは 基準年度の 1%増とな ったが、軽 油は基準年 度の20%減 と大幅減と なった。	昨年より若干増えていま すが悪くない結果が でているので、大きな 成果が得られなくともこ れぐらいの数値をキープ していきたいと思いま す。
軽油 使用量削減		116,858	115,689.4	93,455	○		
LPGガス 使用量削減	kg (1㎡=2kg)	7.0	7.0	7.0	○	昨年同様の 結果であっ た。	なかなか1減らすのが難し いので良い結果であると判 断します。
一般ゴミ 排出量削減 (リサイクル できなかったもの)	kg	315	312	277.2	○	紙チップにし リサイクルに 回すことで 大幅に減。	紙チップにできるもの はシュレッダーにかけ るという習慣が身に付 き、この結果を出すこ тоができたので継続し ていきたい。
水使用量削減	㎡	125	124	134	×	大幅に増 えてしまっ た。	漏水していた可能性も考えられ る。洗車に一番多く使用するた め、節水ノズルを活用して再度 節水についてしっかり取り組む 必要がある。
化学物質 適正管理	-	新規SDS情報の 共有の徹底	新規SDS情報の 共有の徹底	○		情報共有を徹底 できた。	経理担当者が請求書から 物質を拾い、SDSをだして 情報共有することが徹底 できている。
再資源率UP (破碎処理数量/全受託品目 の数量)	-	再資源化達成率 平均99.41%	再資源化達成率 平均99%以上を キープ	再資源化達成率 99.53%	○	昨年同様 目標達成。	昨年より若干ですが達成率UP。 大変良いことなのでこの数 字をキープしていきたい。
収集運搬効率UP	-	収集運搬車両 燃費平均 5.56km/ℓ	収集運搬車両 燃費平均 5.6km/ℓ	収集運搬車両 燃費平均 5.44km/ℓ	△	昨年より少 し落ちてい る。がキープ できていると いえる。	あまり変化がなかった が、これより悪い結果 とならないよう全員で 取り組みたい。
地域貢献活動	-	ロードプレーヤー 年2回参加→○	ロードプレーヤー 年2回参加	○		年2回参加 できた。	地域貢献活動なので今後も組 合全体で貢献していきたい。若 手が参加し、顔を覚えてもら うのもいいと思います。

※購入電力の排出係数0.482kg-CO2/kWh(2015年度中部電力)
※現場散水用の水使用量については数値把握のみとする。

⑥環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容(処分業)

目標	単位	基準期間 2022.5～2023.4	目標 2023.5～2024.4	実績 2023.5～2024.4	評価	コメント	次年度の取組みに むけて
二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2	532,903	527,574	546,757	×	基準年度にたいして、2.6%増となった。	電力使用量、灯油使用量を必要最低限に抑えることで目標達成は可能であると思います。
電力 使用量削減	kWh	680,837	674,029	694,009	×	7月、8月に大幅に増え基準年度の1.9増となった。	処分施設の稼働率に比例して増加するのはやむを得ないが、コントロールできる部分はできるだけ抑えていきたい。
ガソリン 使用量削減	ℓ	1,488	1,473	1,128.7	○	ガソリンは基準年度の24%と大幅に減少。軽油は処理量増加に伴い、基準年度の3.6%増となった。	焼却場、破砕施設の稼働率が上がればそれに比例して上がる部分もちろんあるが、節約できるところは節約して、2000ℓ減少を目標に来期取り組みましょう。
軽油 使用量削減		69,364.2	68,670.6	71,862.7	×		
灯油 使用量削減	ℓ	8,141.8	8,060.4	8,890.5	×	燃焼がしにくいのがあったことと破砕機の稼働増により、基準年度の9.2%大幅増。	焼却物が減少し、コンクリート破砕機の稼働率が上がったことにより、使用料がおおくなった。
LPGガス 使用量削減	kg (1m ³ =2kg)	4.0	4.0	3.0	○	節約を心がけることにより、目標を達成した。	冬場、特に2月の使用量を抑えることができたことが大きいと思います。
一般ゴミ 排出量削減 (リサイクル できなかったもの)	kg	16.0	15.8	15.3	○	基準年度の4.4%削減で目標を達成。	本社同様、シュレッダーで紙チップにする習慣がつき、成果をだすことができたと思います。
水使用量削減	m ³	39	38	41	○	ほとんどの月が前年より増えてしまった。	処分場の稼働率UPにより、散水の量も増えますが、節水ノズルを使用することで節水できると思います。
化学物質 適正管理	-	実態調査→○	SDSの情報共有	○		SDSの共有が徹底されている。	本社に比べ、新たに使用する製品がないため、使用している物質のSDSは全員が周知できている。
再資源率UP	RC40-0 売却量 年間平均	RC40-0 売却量 平均301.25m ³	対象品目 の選定 (RC40-0の売却 量でよい か)	RC40-0売却量 月平均300m ³ 以上 をキープ	○	月の300m ³ 販売できた月がなかった。	大量に購入していただける案件の数に波があるので、目標の設定の仕方を変える必要があると思います。
地域貢献活動	-	農免道路 清掃活動→ △(廃棄物処分のみ)	農免道路 清掃活動	農免道路 清掃活動実施		社員全員で行うことができ、取材も受けた。	忘年会の日の午前中に社員全員で5つのグループにわかれ、広範囲にわたって清掃活動することができた。

※購入電力の排出係数0.482kg-CO2/kWh(2015年度中部電力)

次年度目標(建設業)

当社は環境への負荷が大きいと考えられる《二酸化炭素排出量》《廃棄物の排出量》を削減するとともに、再資源化率の向上に努めます。

目標	単位	次年度目標	備 考
二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	282,743.0	今年度より、 廃棄物の焼却処分 により排出されるCO ₂ は目標数値に含めない。
電力 使用量削減	kWh	19,445	
ガソリン 使用量削減	ℓ	13,339	
軽油 使用量削減		92,520	
LPGガス 使用量削減	kg (1m ³ =2kg)	7.0	
一般ゴミ 排出量削減	kg	274.4	
水使用量 削減	m ³	133	
化学物質 適正管理	—	SDS情報の回覧・情報共有	
再資源率UP (破砕処理数量/弊社排出のうち 弊社処分許可品目の数量)	—	年間購入費平均10000円/月	今期より、対象品目に関し、分母は「自社処分可能品目のみ」とする。
収集運搬 効率UP (軽油)	—	燃費5.6km/lを目標とする	今期より、軽油収運車両のみで運搬効率を求める方式をとる。
地域 貢献活動	—	ロードプレーヤー年2回参加	

次年度目標(処分業)

当社は環境への負荷が大きいと考えられる《二酸化炭素排出量》《廃棄物の排出量》を削減するとともに、再資源化率の向上に努めます。

目標	単位	次年度目標	備 考
二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	523,791.0	今期より、産廃物の焼却処分により排出されるCO ₂ は目標数値に含めない。
電力 使用量削減	kWh	687,069.0	
ガソリン 使用量削減	ℓ	1,117.0	
軽油 使用量削減		71,144.0	
灯油 使用量削減	ℓ	8,802.0	
LPGガス 使用量削減	kg (1m ³ =2kg)	3.0	
一般ゴミ 排出量削減	kg	15.1	
水使用量 削減	m ³	38	
化学物質 適正管理	—	SDSの情報共有	
再資源率UP	—	年間にRC40を 2400m ³ 販売	
地域 貢献活動	—	農免道路清掃活動	

⑦環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法規等の名称	遵守項目(対応すべき事項)	評価
建設リサイクル法	対象建設工事における届け出の提出義務（分別解体等及び再資源	○
建築基準法	工種によって労基など行政への届け出	○
岐阜県公害防止条例	特定施設の設置・変更内容の届出義務	○
岐阜県埋立等の規制に関する条例	3,000㎡以上の区域の埋立許可・事業着手届出・土砂等の搬入届出	○
騒音規制法	特定施設の届出義務・作業実施の届出義務	○
振動規制法	特定施設の届出義務・作業実施の届出義務	○
大気汚染防止法	一般/特定粉塵発生施設届出・石綿使用の有無の事前調査	○
水質汚濁防止法	特定施設設置の届け出・事故時の応急処置の届け出	○
下水道法	特定施設の使用開始の届け出・排出水の基準遵守	○
廃棄物処理法	保管基準遵守・マニフェストの適正管理・実施状況報告など	○
岐阜県廃棄物の適正処理等に関する条例	県内産業廃棄物の処理委託時の処理能力・処理状況の確認義務	○
岐阜県産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱	処理業の更新許可申請は、許可期限の1か月前までに行う	○
グリーン購入法	建設資材・事務用品など物品を購入し、若しくは借り受け、又は役務の提供を受ける場合には、できる限り環境配慮物品を選択するよう努める。	○
消防法	危険物保安管理者の選任・保安講習の受講・所轄消防署長への届	○
ダイオキシン類対策特別措置法	行政への届け出	○
オフロード法	排出ガス基準適合表示・点検整備の徹底・適正燃料の使用	○
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検記録（エアコン、重機）、廃止後3年間記録の保管	○
浄化槽法	浄化槽の定期的な保守点検業務	○
毒物及び劇物取締法	法に則った適正な保管・管理	○
計量法	看買場の計量装置の定期的な点検	○

2024年5月31日 環境管理責任者 酒井 英至 承認

当社における環境関連法規への違反はありません。
 なお、関連当局より違反等の指摘を受けたことは過去3年間ありません。

⑧代表者による全体評価と見直し・指示の結果

1. 実施日 2024年5月20日

2. 環境管理責任者の報告内容

- ・ 取組状況の評価結果
- ・ 目標、環境活動計画の達成状況
- ・ 環境関連法規等の順守状況
- ・ 周囲の変化の状況
- ・ 外部からの環境に関する苦情や要望及びその対応結果
- ・ 環境に関する新しい技術などの情報
- ・ その他

3. 見直し、変更の必要性

- | | |
|-----------------|-----------|
| ・ 環境方針 | 変更の必要性（無） |
| ・ 環境目標 | 変更の必要性（無） |
| ・ 環境活動計画 | 変更の必要性（無） |
| ・ 環境経営システム・実施体制 | 変更の必要性（無） |

4. 代表者による総括

コロナ禍を経て、価格高騰も止まらず、この苦境の中でいかに無駄をおさえるか、利益を生み出すかという課題について全員で知恵を絞り、前を向いて取り組みましょうということで声をかけあい、1年間なんとか取り組んでまいりました。

仕入れ先を変更した材料などもありますが、なかなか取引先を変えることは難しく、できるだけできるだけということ念頭において無駄のないように各部門が目標をもって取り組み、まずまずの成果を出すことができたのではないかと思います。来期からは社長が交代となります。会社にとって良い変化があるといいなと願っております。

2024年5月20日

株式会社マルエス産業

代表取締役 酒井 良郎